

発言通告書の要旨(一般質問)

平成26年第4回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12/8 (月)	1	5 横山 強	1、西香川病院について	(1)夜間宿直医師の勤務時間と費用弁償額と、西香川病院の管理運営に勤務時間は三豊市と西香川病院と管理運営が守られているか、を伺う。 (2)夜間宿直勤務中に、西香川病院の職務以外の私的の業務をしても構わない。といった条項が、三豊市と一般社団法人三豊・観音寺市医師会・西香川病院と年度協定書を交わしているのかを、伺う。 (3)夜間勤務医師は何名で対応しているのかを伺う。 (4)三豊市が施設管理とする、西香川病院施設管理夜間勤務に対し、医師の当直用宿舎の部屋の管理はどのように市当局は把握しているのか、を伺うとともに、医師が夜間勤務で医師宿舎提供としているが、関係者外の宿泊許可を認めているのかを、伺う。 (5)一般社団法人三豊・観音寺市医師会による、夜間勤務医師の宿直勤務徹底を促すよう、三豊市から警告ができるのかを伺う。
	2	10 丸戸研二	1、三豊市型人口減少対策	(1)絶え間ない対策とストーリー性 (2)市民力の活用 (3)地域の特徴や資源を生かすこと (4)地方創生事業への取り組み (5)市中心部と周辺部の特性を生かした振興対策 (6)少子化と男女共同参画との関係 (7)若者が定着できる産業構造 資源等の市内循環と外(一極)から市内への流入促進
			2、産業開発による地域振興	(1)荒廃化が進む里山とその可能性 (2)建築基準法の変化 (3)市における利用促進方針 (4)里山資源の複合による採算性への見通し (5)公共施設の整備における実態 (6)民間建築に対する行政施策の必要性
			3、学校給食における地産地消	(1)地場産物の使用状況と自給率向上の可能性 (2)新給食センターでの取り組み (3)学校給食の意義・目的と地域産業との関係
	3	9 浜口恭行	1、シティプロモーションについて	これからの自治体運営では、営業という視点を組み込んでいくことが重要である。自治体におけるマーケティングや営業の活動を総称してシティプロモーション(シティセールス)となるが、このシティプロモーション(都市・地域の売り込み)の取り組みを、当市も今こそ、積極的に進めていく必要がある。市長の見解を聞きたい。
			2、電子図書館について	従来の図書とは違う、新しい情報資料である「電子書籍」の利用が全国的に広がっている。インターネットを活用し、来館しなくても利用できる「電子図書館」を導入検討する時期に入ったと思うが、当局の考えを聞きたい。
	4	4 石井勢三	1、消防団の女性参加と報酬などについて	消防団活動において、今後、起こり得る災害に備えて、女性消防団員の必要性が考えられる。また、団員確保、活動に対する優遇性の配慮について、今後の方針を問う。
			2、認知症の定期検査について	今後、超高齢化時代に向かっていく中、認知症問題が大きな課題となっている。 今、三豊市で年齢による無料健康検査を行っているが、市民の健康のためには、非常に重要な事業である。この検査項目の中に認知症検査を取り入れ、早期発見に力を入れている自治体もあるが、市としての今後の方針を伺いたい。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成26年第4回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12/8 (月)	5	8 瀧本文子	1、男女共同参画社会実現にむけて	(1) 女子力を生かしたまちづくりの振興について 施政方針の中で、これまでの「強く、やさしく」といったキーワードに加え、「楽しい三豊」を打ち出し、まちづくりに女性と若者の積極的参加を求めている。女子力を生かした地域づくりをどのように進めているか。 (2) 市職員おける育児休業取得の状況について ここ数年の出産状況、男女共に休暇取得状況など (3) 市の政策・施策の策定過程に積極的に女性職員の参画を進めているか。 特に市政運営の根幹にかかわる、予算編成作業、人事配置作業、災害対策・危機管理部署などに女性が直接担当し、責任を持つという体制が不十分ではないか。 (4) DV・児童虐待について プランの中で「男女の人権の尊重」が重点目標に掲げられている。三豊市の現状と対応・支援について伺う。 (5) 男女共同参画推進条例について プラン推進に向けて「条例の調査・研究」が掲げられている。条例の基本的考え方と取り組みの進捗状況を伺う。
			2、三豊市立図書館について	(1) 7つある公立図書館の運営・管理について、三豊市の現状と基本的考え方を伺う。 (2) ハード面から、老朽化した施設の今後の見通しは。 (3) 地域のコミュニティの中心としての位置づけ
	6	18 為広員史	1、宝山湖公園の使用について	平成27年度においてどのように運用されるのか。
12/9 (火)	7	12 詫間政司	1、「バリアフリー(有り)」の介護予防について	介護保険法改正では、予防給付の内『介護予防訪問介護』と『介護予防通所介護』が地域支援事業へ移行され、市の実施する総合事業となる。市独自の地域の支えあいの体制づくりの推進の受け皿として、「バリアフリー」ならぬ「バリアアリー(有り)」の考えに基づいた取り組みを伺う。 ・『社会福祉法人夢のみずうみ村』が実践し実績を上げている介護予防の研究と取り組み ・引きこもりを 방지コミュニケーションを促進するサービスのメニューの検討(長寿会や高齢者スポーツ団体が取り組んでいる事業支援に加え、新たに三豊市オリジナルの健康ダンスや今話題のコミュニケーション麻雀などの着手推進
			2、「ラウンドアバウト方式」交差点の導入について	2014年9月より「環状交差点」として現代的ラウンドアバウトの運用が始まった。 ①効率が上がる、②安全性が上がる、③経費が下がる(信号不要)といった3つのメリットがある。交差点改良時の導入の考えを伺う。
	8	14 西山彰人	1、公共施設建設に対する長期展望について	9月議会でも質問したが30年後40年後の三豊市の財政見通しについて伺う。
2、小学校の統廃合と地域コミュニティについて			小学校が統廃合された地域でさまざまな問題でコミュニティが傷ついていると聞くがどうか。	
3、保育所の民間委託について			保育所を民間に委託できる条例が提出されたが市民の意見反映はどうするのか。	

発言通告書の要旨(一般質問)

平成26年第4回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12/9 (火)	9	7 込山文吉	1、農業支援 農業従事希望者研修について	若者定住対策の一つに「新規就農支援事業」が考えられる。一方、就農者の挫折も多いと聞く。 (1)三豊市の現状をどう捉えているのか。課題を聞く。 (2)いきなり就農ではなく、体験できる研修センター的な事業が必要と考えるが考えを聞く。
			2、平成27年度 予算編成方針について	11月21日「まち・ひと・しごと創生法」が成立。基本的な目標、施策に関する基本的方向などを定めることが求められる。予算編成方針は既に出されているが、人口減少阻止の取り組みなどについて市長の考えを聞く。 (1)平成30年度65,000人の人口目標への取り組みは十分か。考え方を聞く。 (2)市制10周年事業と創生法を関連付け、過疎集落等自立対策事業やスポーツ振興くじ助成金等を活用すべきと考えるが、取り組みを聞く。 (3)限られた経営資源の選択と集中を図るため、事業の再構築は賛成だが近隣自治体の実施水準を比較し過剰サービスは見直すことは反対である。三豊市の特徴を出すべきと考えるが市長の考えを聞く。
			3、職員の給料体制 給料表の見直しと職員評価制度について	現在の三豊市給料表は古い公務員制度が温存された年功序列型の給料表である。 (1)年齢と処遇の一致から責任と処遇の一致へ転換すべきと考えるが、考えを聞く。 (2)職員の評価は所属長が行っていると聞く。多面評価を導入すべきと考えるが市長の考えを聞く。
12/9 (火)	10	2 大平敏弘	1、平成27年度予算編成方針	27年度予算編成の姿勢 普通交付税の合併算定替終了に伴う一般財源の減少と、大型建設事業の実施に伴う財政負担や公共施設の再配置問題などを考慮すると、中長期的には厳しい状況が見込まれている。将来世代に負担を先送りしないためには行財政改革を進めるとともに、全職員が、市民感覚と市民目線に立ち、知恵と工夫とやる気を持って、「事務事業の聖域なき見直し」と「財源の確保」を基本とした予算編成を行う必要がある。明記されているが、「聖域なき見直し」への行政と市民の連携、これからの姿勢と、交付税合併優遇期限に向けての市民の皆さんの理解度を行政としてどのように考えているか。
	11	16 鴨田 偕	1、コミュニティバスについて	(1)10月18日、10月19日に市長による全市放送で、収支率12%を割る高瀬線、三野線、財田線を廃止する方向性に向けての協議をするような内容であったように伺われるが、受益地域の高齢者(交通弱者)は非常に関心を持ったようであるが、今後の取り組みについて市長の考えを伺う。
			2、讃岐造船跡地について	(1)誘致しようとしている水族館(日プラ経営)、相手方企業との協議の進捗状況を伺いたい。 (2)取得した讃岐造船跡地を更地に整備して誘致しようとしている企業に無償で貸すわけであるが、更地にする費用はどの程度の金額が必要か伺う。 (3)取得した讃岐造船跡地と海との境界に防潮堤を建設する計画が、県との協議があるように伺っているが、県との協議状況を伺う。
3、災害時優先電話について			(1)災害時において、優先的に接続される回線システムのようなものであるが、三豊市の電話回線に組み込まれているか伺う。	
12/10 (水)	12	6 水本真奈美	1、健康でいきいきと暮らせるまち三豊について	(1)健康マイレージ制度の導入の考えを伺う。 (2)がん対策 ・胃がん検診・・・ピロリ菌の除菌で胃がん予防と胃がんリスク検診の実施についての考え ・がん検診推進事業の個別受診勧奨制度のさらなる取り組みについて
			2、危険ドラッグについて	青少年対策として薬物乱用、再使用防止のための相談体制など取り組みおよび薬物乱用防止教育の強化について伺う。
			3、家族介護用品支給事業について	本市においては在宅の要介護4および5のねたきりの高齢者を常時介護している家庭に対し介護用品の一部を支給しているが、要介護3(例えば認知症患者で常時失禁症)の高齢者にも紙オムツなど、支給事業拡大のお考えを伺う。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成26年第4回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12/10 (水)	13	15 金子辰男	1、市長が行うトップセールスの効果と課題について、今後の取り組みについて	三豊市のトップセールスマンとしてさまざまところで、三豊市をアピールしてきたと思うが、最少の経費で最大の効果、「稼ぐ三豊」の実現がなされているのか。具体的に示せ。
			2、小学校統合後について	(1) 統合される地域の発展施策、さびれさせないための方策を考えているのか。具体案を示せ。 (2) 廃校施設などの利活用事例を地域住民に知らせ、創意工夫を生むきっかけづくりはできないか。
			3、幼稚園の統合について	幼稚園と保育所の機能を兼ね備えた認定こども園、現在の検討状況と今後の見通しについてどのように考えているのか。
	14	20 近藤久志	1、平成27年度の部局見直しと職員配置の方針について	(1) 地方創生関連2法が成立した、地方自治体の立案・実行能力が必要となるが三豊市としての方針を伺う。 (2) 政府は小規模な市町村を対象に「日本版シティマネージャー」と名付けて中央省庁の職員派遣する制度を設ける方針があるが、派遣受け入れの見込みについて伺う。
			2、三豊市農業振興センターについて	(1) 農業振興センター設置目的と、実績について (2) 今後の運営方針と、計画について
	15	1 岩田秀樹	1、子ども貧困対策について	「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が制定された。生活支援や保護者の就労支援など子どもたちの現状と市の対策はどうなっているのか。
			2、介護の社会化として始まった介護保険制度、ますます利用しにくくなるのか	特別養護老人ホーム待機者は、介護1・2を外すことによってどう変わるのか。「一人暮らし」また「老々介護」の人たちはどうなるのか。
			3、需要の大きかった「住宅リフォーム助成制度」の来年度実施について	新年度の計画をどう考えているのか。「事業の持続的発展」をキーワードに、小規模企業を支援する施策を国、地方公共団体が連携して講じるよう求めている、小規模企業振興基本法具体化の視点から伺う。
	16	13 三木秀樹	1、突然の「解散」総選挙について	安倍政権の2年間の政策で、三豊市に何かご利益があったのか。 ①三豊市の景気の動向から、②市政が前進した国からの支援策、③「解散」が市政にとって「意義ある」ものかなどを市長に伺う。
			2、新教育委員会制度を聞く	安倍政権下で成立した教育委員会改革での問題点を聞く。 (1) これまでの教育委員会で互選によって選ばれていた「教育長」が、教育委員会では新「教育長」の任命・罷免に関与できなく、新「教育長」の権限が大きくなることからの危惧する点を聞く。 (2) また、市長が招集する「総合教育会議」で危惧する点を聞く。
			3、コミュニティバスについて	もともと市長の公約(政策)で始まったバス運行について聞く。 (1) 12%の収支率目安というが、一体三豊市は一般財源で12コース運行にいくら一般財源を投入し、全体の費用対効果からして12%以下の路線は廃止せざるを得ないのか。 (2) 多くの市民が、「運行廃止」予告報道に、社会的弱者を切り捨てるのが、横山市政かとの声が聞こえるが、市長の見解を伺いたい。
			4、三豊市の10年先を見て、まちづくりを進めているのか	地方分権法を生かすしか道はないが、合併して10年。現状を振り返った《過去を反省し》、現在の諸政策が、将来の三豊市づくりとなっているのか。①公共施設の統廃合進捗問題、②まちづくり推進隊の長期方針を聞く。